

よってらっしゃいみてらっしゃい！ 色々そろえてますよ！

2月16日(土) コスモシアターで「第20回ボランティアフェスティバルin貝塚」が開催されました。

色とりどりの縫製品や、季節物であるお雛様の陶芸品を手に取り、「かわいい!」「こんなものがあつたら嬉しい。」と多くの方がいぶきの商品を見てくれていました。そんなお客さんとのやりとりを楽しみながら、参加した利用者みなさんも最後まで「いらっしゃいませ〜!」と販売に熱が入っていました。



いらっしゃいませ〜☆

こんなところで使われています！ いぶきの陶芸品

熊取療育園の利用者のみなさんが、当作業所で作ったカップやお皿を使っていたりしています。

プラスチック製のものより大切に扱ってくれているとのこと、ありがたいなあ〜と思っています。

自分の作った製品を使っていただくことが、いぶきの利用者にとって一番嬉しく、励みにもなりますね。



10月から看護師の田浦さんが来られています。

長年の経験に加え、落ち着いた雰囲気と優しい口調で、利用者みなさんも頼りにしています。



田浦文子さん

自治会発行『ひまわり会新聞』からお知らせ

『いぶき』と一緒にお届けしてました『ひまわり会新聞』は今月号から、家族のみの配布になりました。

作業所の様子や、利用者の活動などは、これまで同様Facebookや職員ブログで発信していきますのでお楽しみに！

行事予定

- 4月18日 グループ外出
- 5月16日 グループ外出
- 5月25日 中央公民館まつり
- 6月 7日 日帰りレクリエーション
- 浜手公民館コーヒーコーナー
- ひまわり喫茶 (利用者自治会主催 毎月1回)
- 浜手&中央公民館ふれあい料理講座 (毎月1回)
- 和泉総合高校清掃業務 (毎月2回)
- アドプト・ロード・いぶき清掃 (毎週水曜日)
- 嘱託医相談日 (毎月一回)
- 血圧・体重測定 (毎月第3火曜日)
- 誕生会 (毎月末日)

寄付

- 南郡組仏教婦人会様
- いぶき保護者の会様

来訪者・実習受入等

- おおぞらこども園
- ハートランド株式会社
- せんごくの里
- 熊取療育園
- みとい製作所

作業・外出ボランティア

- 西校区福祉委員会ボランティア部会様
- 二色校区福祉委員会ボランティア部会様
- 匿名ボランティア様

ボランティアさん大募集 <☎:423-5439 担当:牧村>

編集後記

「大正ロマン」「昭和ノスタルジー」「古きよき時代」。昔を懐かしみ、昔はよかったなあ〜と振り返る言葉はたくさんありますが、未来には「東京オリンピック」「関西・大阪万博」「自動運転」「月旅行」「リニア」など、楽しくなりそうな単語がたくさん☆ 良かった過去を思い出すより面白そうな未来を待つほうがなんだかワクワクしてきますね(笑) 松嶋



第91号 平成31(2019)年4月

社会福祉法人いぶき福祉会
貝塚いぶき作業所
(障害福祉サービス事業所)

発行者 兒玉 和憲 編集 松嶋 仁志、牧村 撰、濱田 仁美

〒597-0073 貝塚市脇浜3丁目25番74号

tel 072-423-5439 fax 072-429-2066

e-mail kaizukaibuki@kvp.biglobe.ne.jp

http://www.kaizukaibuki-ibukifukusikai.jp/



「親亡き後問題」にアタック！

障がいのある子どもさんがおられる親御さんにとって一番願われていることは、ご自分が亡くなった後、子どもさんが安全に幸せに生活を送られることだと思います。この願いを叶えるためには、清潔な「衣」、美味しい「食」、快適な「住」を確保することが何より大切です。

この願いを叶えることができるのが「グループホーム」なのです。いぶきのグループホームでは、家事の達人!! 熟練した世話人のみなさんが、入浴のお手伝いや衣服の洗濯をしてくれます。また、温かい心のこもった美味しい食事は、いつも利用者を満腹にしてくれます。



所長 兒玉 和憲

さて、2年後に社会福祉法人いぶき福祉会は、設立25周年を迎えます。

この節目の年を記念して、私たちは「親亡き後問題」に果敢にアタックし、約1億6000万円を投入して現在の規模(定員9人・ショートステイ2人)を2倍にしたグループホームを新築する予定です。新しいグループホームでも、利用者にとっては住みよい快適な住空間を提供し、世話人にとっては働きやすい職場環境を整備する予定です。

現在、建設用地を探しております。地域のみなさんには、障がいのある人が安全で幸せに地域の一員として生活を送ることに協力くださるようお願いいたします。